

小国高校 ジャーナル

2009. 11

www.ygt-oguni-h.ed.jp

危険物取扱者試験 合格者

..... 乙種第4類



伊藤拓磨(2-1)



船山健吾(2-2)

危険物取扱者試験とは

消防法で指定された危険物の性質や消火法、法規制などについての専門知識を持ち、危険物の貯蔵・運搬・取扱い、またその指示ができる免状を取得するための国家資格の試験です。危険物関係法令を遵守し、危険物施設等での、保安監督などを行なうことで災害防止に努める事ができます。

高校生が受験可能な乙種

甲・乙・丙との受験種類があり、乙の中では【第1類 ～ 第6類】に分かれ、取り扱える危険物が変わります。中でも第4類(引火性液体)とは、灯油・ガソリンなどで原料や用途などに広く利用される一般に身近である危険物を取り扱えるということもあり、社会的な需要も数多いと言われています。

試験内容

「危険物に関する法令」「危険物の性質並びにその火災予防および消火の方法」「物理学と化学の基礎知識」の3科目からなり、合格基準はそのすべての科目の成績がそれぞれ60%以上であることとされています。

読書週間(10月26日~30日)

読書に親しむきっかけを作り、語彙力や表現力を高める目的で全校で朝のホームルーム前の25分間朝読書に取り組みました。短い時間ではありましたが生徒達は意欲的に取り組みました。「授業の始まりも落ち着いた雰囲気の中で集中できる。」と生徒からは、こんな声もあがっていたようです。



【興学会館】解体準備

老朽化により久しく閉鎖していた興学会館が、今年度をもって解体されることになりました。昭和58年3月まで寄宿舎として使われていた思い出の場でもあります。このたび、会館内の備品等を大切に再利用しようと、3年1組の生徒たちが中心となり、椅子のサビ落としや校舎への運搬作業に汗を流しました。

